

2024年度私立大学医学部の奨学金・特待生等制度の概要(2023年11月28日判明分)

※各大学の独自の特待生制度、奨学金及び自治体と大学が連携した医学修学資金をまとめたもの。各自治体が大学を指定せずに行う一般募集のものは掲載せず。

※対象者条件や返還免除条件は概略。詳細は必ず各大学の募集要項、修学資金貸与案内等で確認してください。

大学	種類	支給方式	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、変換免除条件等	備考
岩手医科	入学時学納金減免	免除	入試成績の1位合格者	1名	初年度学納金のうち300万円	—	—
		免除	入試成績の2位合格者	1名	初年度学納金のうち200万円	—	—
	岩手県医師修学資金	貸与	学校推薦型地域枠A(岩手県出身者枠)入学者	15名	1年次850万円、2年次以降440万円、6年間総額3050万円	岩手県指定の公的病院等で通算9年間勤務で返還免除	岩手県内高校出身者または岩手県内居住者の子
	岩手県医療局医師奨学資金	貸与	学校推薦型地域枠B(東北出身者枠)入学者かつ県立病院等勤務希望者	一般枠8名 産婦人科特別枠2名	月額30万円以内、6年間総額2160万円以内 月額40万円以内、6年間総額2880万円	医師として岩手県内の臨床研修を含む9年間、岩手県立病院等で勤務(義務履行)することにより返還免除	岩手県出身者に優先的に貸し付け
岩手県市町村医師養成修学資金	貸与	県立及び市町村立等の医療機関勤務希望者	15名	月額20万円以内	医師として岩手県内で2年間の臨床研修を受けた後、県立及び市町村立等の医療機関で貸し付けを受けた年数勤務(義務履行)で返還免除	—	
東北医科薬科	東北地域医療支援修学資金(宮城県)	貸与	修学資金枠A方式入学者	30名	500万円/年、6年間総額3000万円	卒後2年以内に医師免許を取得し、宮城県が指定する医療機関等に医師として卒後10年間勤務で返還免除(臨床研修期間の2年を含まない)	—
	同(宮城県以外の東北5県)			5名(各県1名)		卒後2年以内の間に医師免許を取得し、宮城県以外の東北5県で医療機関等に8~10年勤務で返還免除(臨床研修期間の2年を含まない)	—
	同(宮城県以外の東北5県)	貸与	修学資金枠B方式入学者	20名	本学の修学資金250万円/年(6年間総額1500万円)+各県の修学資金	宮城県以外の東北5県の医療機関等で9年程度勤務で返還免除。本学の修学資金のみの場合は6年間(臨床研修期間の2年を含む)の勤務で返還免除	応募資格は各県の修学資金応募資格による
自治医科	自治医科大学医学部修学資金	貸与	入学者全員	全員	6年間の学生納付金全額2260万円と、入学時学費準備費40万円	各県(1次試験受験地)の指定公立病院で貸与期間の1.5倍勤務(勤務期間の半分は指定へき地)で返還免除	—
	自治医科大学医学部奨学資金	貸与	申請者	—	無条件で月額5万円。家庭の経済状況と成績によって選考し月額15万円まで貸与	卒業後9年以内に割賦により返還	—
	栃木県医師修学資金	貸与	栃木県地域枠入学者	3名	6年間で2300万円(授業料100万円、実験実習費50万円/年、施設設備料13万円/年、入学料100万円、入学学費準備費40万円)	栃木県が指定する医療機関等に医師として卒後9年間勤務で返還免除	—
獨協医科	初年度教育充実費5割減免	免除	一般、共通テスト利用の成績優秀者	若干名	初年度教育充実費の5割(180万円)を減免	—	—
	栃木県医師修学資金	貸与	栃木県地域枠入学者	5名	入学金100万円、授業料350万円/年(6年間総額2200万円)	栃木県指定の公的医療機関等で9年間勤務で返還免除(初期臨床研修期間含む)	—
	埼玉県医師育成奨学資金(指定大学奨学金)	貸与	埼玉県地域枠入学者	2名	月額20万円、6年間総額1440万円	医師免許取得後、直ちに奨学金貸与機関の1.5倍の期間、特定地域の公的医療機関に勤務または特定診療科等に医師として勤務で返還免除(初期臨床研修期間を含む)。	—
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	茨城県地域枠入学者	2名	月額25万円、6年間総額1800万円	卒業後1年6か月以内に医師免許を取得し、直ちに指定従事医療機関等で9年間勤務で返還免除(臨床研修期間を含む)。	—
	新潟県医師養成修学資金	貸与	新潟県地域枠入学者	2名	月額50万円、貸与開始月のみ110万円(6年間総額3660万円)	卒業後2年以内に医師免許を取得し、直ちに、新潟県が指定する医療機関等に9年間勤務で返還免除(臨床研修期間を含む)。	—
	獨協医科大学特別奨学資金	給付	2年次生以上で、学費支弁困難かつ成績優秀者	—	年額60万円	—	—
	獨協医科大学医学生教育ローン利子補給奨学資金	給付	総合型選抜入学者及び他の4年次生以上で、学費支弁困難者	—	年額上限20万円	—	—
	関育英奨学資金	貸与	2年次生在学、成績優秀で学費支弁困難者	—	月額3万円(無利子)	—	—
獨協医科大学桜杏会互助事業修学資金	貸与	2年次生以上で、桜杏会会員の死亡又は重度の傷病、事業不振等により学支弁が極めて困難な者	—	授業料の範囲内	—	—	
埼玉医科	第1種特別待遇奨学学生(埼玉県地域枠医学生奨学金受給者)	免除	学校推薦型選抜(埼玉県地域枠)合格者	—	初年度納付金から550万円免除	—	埼玉県地域枠医学生奨学金との重複受給不可
	第2種特別待遇奨学学生(埼玉医科大学医学部特別奨学金受給者)	免除	共通テスト利用選抜利用合格者のうち埼玉医科大学医学部特別奨学金受給者	—	入学金200万円免除	—	埼玉県地域枠医学生奨学金との重複受給不可
	第3種特別待遇奨学学生	免除	2年次生以上の成績上位者	各学年10名	学費100万円減免(1年間)	—	—
	埼玉県地域枠医学生奨学資金	貸与	学校推薦型選抜(埼玉県地域枠)合格者	19名予定	月額20万円(6年間総額1440万円)	貸与期間の1.5倍の期間、埼玉県並びに大学が指定する医療機関または特定診療科に医師として勤務で返還免除	—
	埼玉医科大学医学部特別奨学資金	貸与	共通テスト利用選抜出願予定で学業優秀な者	5名以内	初年度350万円、2年次以降300万円(6年間総額1850万円)	大学に9年間勤務で返還免除	—
	研究医枠奨学資金	貸与	医学部2年次修了者	3名	10万円/月を医学部3年次または、4年次から7年間(総額840万円)	大学医学部基礎医学部門で勤務した期間が、貸与月数と同数の期間に達すれば返還免除	—
	毛呂山会育英会奨学資金	貸与	学費支弁困難者	定員無し	個別に定める	初期臨床研修終了後に返還開始	—
国際医療福祉	医学部特待奨学学生S	給付	一般選抜を受験した成績優秀者	20名	1年次300万円、2年次以降280万円/年(6年間最大1700万円)入学金150万円・寮費全額を免除	—	1年次は入試成績による。2年次以降は学内成績が上位50位以内に入らない場合や留年した場合、懲戒処分を受けた場合等は給付打ち切り
	医学部特待奨学学生A	給付	一般、共通テスト利用の成績優秀者	30名	1年次250万円、2年次以降230万円/年(6年間最大1400万円)入学金150万円を免除	—	1年次は入試成績による。2年次以降は学内成績が上位70位以内に入らない場合や留年した場合、懲戒処分を受けた場合等は給付打ち切り
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)奨学資金	給付	2年次生以上の優秀学生	全学部で5~6名	年間60万円~180万円	—	—
	国際医療福祉大学医学部年間成績優秀賞	給付	2~4年次生の前年成績優秀者	1名 2名	授業料全額(190万円) 授業料半額(95万円)	— —	特待奨学学生として給付を受けている者は表彰のみ
	国際医療福祉大学学生支援基金奨学資金	貸与	学生納付金負担者の不慮の事故等に伴う家計急変者	—	年間学生納付金額以内	—	—
杏林	東京都地域医療医師奨学資金(特別貸与奨学資金)	貸与	東京都地域枠入学者	10名	6年間の学費全額(3700万円)と、生活費月額10万円、6年間総額4420万円	医師免許取得後、杏林大学附属病院で初期臨床研修を開始。初期臨床研修後は小児・周産期・救急・へき地のいずれかの医療領域で、東京都指定の医療機関に貸与期間の1.5倍の期間(本学の初期臨床研修期間含む)勤務で返還免除	東京都内居住者または東京都内の高校出身者

大学	種類	支給方式	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、変換免除条件等	備考
杏林	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	茨城県地域枠入学者	-	①月額20万円、6年間総額1900万円 ②月額25万円、6年間総額2400万円	指定従事医療機関等で9年間(臨床研修期間を含む)従事。従事期間のうち1/2以上の期間は「医師不足地域内の医療機関」で勤務で返還免除	-
	新潟県医師養成修学資金	貸与	新潟県地域枠入学者	4名	6年間総額3700万円	新潟県が指定する医療機関等に9年間勤務(臨床研修の2年間を含む)。9年間のうち、3、4年目及び7～9年目は新潟県内の厚生連病院に勤務。新潟県内で実施する地域医療に関する実習に毎年参加。	-
	医学部優秀賞	給付	2～6年次生の成績優秀者	各学年3名	成績上位1位…30万円/年 成績上位2位…20万円/年 成績上位3位…10万円/年	-	-
	医学部研究優秀賞(STUDENT RESEARCH AWARD)	給付	1～6年次生で、研究活動において優れた実績・功績を残した者	各学年最大10名	最大年額10万～30万円/1件(各学年最大10件×6学年)	-	-
	杏林大学奨学金	給付	2年次生以上の成績優秀で経済的修学困難者	-	年額36万円	-	-
	杏林大学成績優秀学生表彰金	給付	2～6年生の成績優秀者	各学年1名	年額5万円	-	-
	杏林大学特別表彰学生表彰金	給付	資格取得者又は社会・課外活動等で特に顕著な実績を残した者	-	年額3万円	-	-
慶應義塾☆	慶應義塾大学医学部人材育成特別事業奨学金(合格時保証型)	給付	一般選抜成績上位者	10名程度	1～4年次200万円/年、総額800万円。	-	給付候補者には合格通知とともに通知
	医学部奨学金基金奨学金	給付	2年次生以上で、成績優秀者または社会的貢献顕著で経済的修学困難者	-	上限100万円/年、1年間(再申請可)	-	-
	医学部教育支援奨学金	給付	4年次生。臨床実習に備えた奨学金	-	上限5万円/年、1年間	-	-
	医学部教育支援奨学金(経済支援)	給付	2年次生以上で、経済的修学困難者	-	上限50万円/年、1年間(再申請可)	-	-
	総合医学教育奨励基金奨学金	給付	2年次生以上で、成績優秀・課外活動意欲者	-	年間上限100万円、1年間(再申請可)	-	-
	医学部研究医養成奨学金	給付	4、5年次生で、MD-PhDコース選択者	-	上限100万円/年、1年間(再申請可)	-	-
	医学部贈医奨学金【経済支援奨学生】	給付	2年次生以上で、経済的修学困難者	-	上限100万円/年、1年間(再申請可)	-	-
	医学部贈医奨学金【顕彰部門】	給付	4～6年次生で、社会貢献などの活動優秀者	-	上限5万円程度/年、1年間(再申請可)	-	-
	医学部贈医奨学金【研究奨励部門】	給付	2年次生以上で、研究経験者	-	上限5万円程度/年、1年間(再申請可)	-	-
	医学部人材育成特別事業奨学金	給付	国際的なフィールドで活躍する1～6年次生	-	上限200万円/年、1年間(再申請可)	-	-
	学問のすゝめ奨学金(地方出身者対象)	給付	首都圏(1都3県)以外の高校出身者	全学で550名以上	年額90万円を6年間。初年度は入学金相当額(20万円)加算。成績優秀者は2年次以降、年額150万円に増額。毎年の継続審査	-	-
	慶應義塾大学給費奨学金	給付	2年次生以上で、成績優秀な経済的修学困難者	全学で310名程度	年額50万円または25万円、1年間(再申請可)	-	-
	慶應義塾大学修学支援奨学金	給付	経済的修学困難者	全学で100名程度	学費の範囲内(年額平均30万円)、1年間(再申請可)	-	-
	慶應義塾維持会奨学金	給付	成績優秀な経済的修学困難者	全学で130名	年額50万円、1年間(再申請可)	-	-
	指定寄付奨学金(経済状況重視型)	給付	奨学金ごとに異なる	全学で130名程度	年額10～60万円、1年間(再申請可)	-	-
	指定寄付奨学金(育英型)	給付	奨学金ごとに異なる	全学で30名程度	年額10～50万円、1年間(再申請可)	-	-
順天堂	学費減免特待生	免除	一般選抜A方式合格者	成績上位10名	6年間で1380万円減免。1年次の学費90万円を免除。2～6年次は各年100万円免除。	-	-
	東京都地域医療医師奨学金(特別貸与奨学金)	貸与	東京都地域枠入学者	10名	6年間の学費全額(2080万円)と、生活費月額10万円、6年間総額2800万円	小児・周産期・救急・へき地のいずれかの医療領域で、東京都指定の医療機関に貸与期間の1.5倍の期間(本学の初期臨床研修期間含む)勤務(9年間の1/2は都内の指定医療機関に勤務)で返還免除	東京都内居住者または東京都内の高校出身者
	新潟県医師養成修学資金(重点コース)	貸与	新潟県地域枠入学者	1名	月額30万円、6年間総額2160万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	-
	千葉県医師修学資金	貸与	千葉県地域枠入学者	5名	月額20万円、6年間総額1440万円	千葉県知事指定の医療機関で、貸与期間の1.5倍相当の期間勤務で返還免除	-
	埼玉県医師育成奨学金(指定大学奨学金)	貸与	埼玉県地域枠入学者	10名	月額20万円、6年間総額1440万円	特定地域の公的医療機関に貸与期間の1.5倍(初期臨床研修期間含む)の期間勤務、または特定診療科等に医師として勤務で返還免除	-
	静岡県医学修学研修資金	貸与	静岡県地域枠入学者	5名	月額20万円、6年間総額1440万円	静岡県内の指定公的医療機関で9年間勤務で返還免除	-
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	茨城県地域枠入学者	2名	月額25万円、6年間総額1800万円	指定従事医療機関等で9年間(臨床研修期間を含む)従事。従事期間のうち1/2以上の期間は「医師不足地域内の医療機関」で勤務で返還免除	-
基礎医学研究者養成奨学金	貸与	①研究医特別選抜入学者 ②基礎研究医養成プログラムの特別コースに進み、申請を希望する者(4年次以降)	①2名 ②定員無し	月額10万円 ①1～6年次および大学院修了まで ②4～6年次および大学院修了まで	本学医学部卒業後、貸与期間と同年数以上、本学医学部で基礎医学研究者として従事で返還免除	-	
昭和	昭和大学特待制度	免除	一般I期上位合格者	-	初年度の授業料300万円免除	-	-
	新潟県医師養成修学資金	貸与	新潟県地域枠入学者	7名	月額30万円、6年間総額2160万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	-
	静岡県医学修学研修資金	貸与	静岡県地域枠入学者	8名	月額20万円、6年間総額1440万円	静岡県内の指定公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間勤務で返還免除	-
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	茨城県地域枠入学者	4名	月額25万円、6年間総額1800万円	茨城県指定の医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務(従事期間の1/2以上の期間は医師不足地域の医療機関)で返還免除	-
	山梨県医師修学資金	貸与	山梨県地域枠入学者	2名	月額13万円、6年間総額936万円	医師免許取得後、15年間の間に9年間山梨県内の特定公立病院等に勤務で返還免除 ※山梨県内の病院が実施する臨床研修を修了すること	山梨県内高校出身者または保護者が山梨県内居住者。地域枠指定校推薦で定員に達した場合、地域枠一般選抜は実施しない

大学	種類	支給方式	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、変換免除条件等	備考
昭和	学校法人昭和大学奨学金	貸与	経済的修学困難者	23年実績 70名 (全学部)	50万円/年	卒業後、10年間で返済	-
	昭和大学医学部特別奨学金	給付	4年次生で、成績優秀者	15名以内	5年次と6年次の授業料相当額	学部卒業後、本学大学院へ進学し、本学附属病院または本学以外の病院において臨床研修を行い、本学大学院修了後4年以上本学において、教育・研究・診療に従事する者。	-
	シンシアー奨学金	給付	昭和大学医学部特別奨学金給付を目指す成績優秀者	5名以内	2年次、3年次、4年次の授業料相当	-	-
	昭和大学父兄互助会奨学金	給付	父母等学費負担者の不測の事態による経済的困窮者	各学部 4名以内	全体で1600万円以内	-	-
帝京	福島県地域医療医師確保修学資金	貸与	一般選抜(福島県特別地域枠)入学者	2名	月額23万5000円、6年間総額1692万円。他に入学金相当額100万円(上限)	福島県内で初期臨床研修をし、福島県内の指定医療機関での勤務・後期研修の従事期間が貸与期間の1.5倍相当に達して返還免除	-
	千葉県医師修学資金(長期支援コース)	貸与	一般選抜(千葉県特別地域枠)入学者	2名	月額20万円、6年間総額1440万円	千葉県知事指定の医療機関で、貸与期間の1.5倍相当(初期臨床研修期間含む)の期間勤務で返還免除	-
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	入学前に茨城県実施の修学資金貸与のための面接合格者。一般選抜出願時に応募	2名	月額25万円、6年間総額1800万円	茨城県指定の医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務(従事期間の1/2以上の期間は医師不足地域の医療機関)で返還免除	-
	静岡県医学修学研修資金	貸与	一般選抜(静岡県特別地域枠)入学者	2名	月額20万円、6年間総額1440万円	静岡県内の指定公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間勤務で返還免除	-
	新潟県医師養成修学資金(重点コース)	貸与	一般選抜(新潟県特別地域枠)入学者	1名	月額50万円、貸与開始月のみ110万円(6年間総額3660万円)	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	-
	“自分流”奨学金制度	免除	家系状況の急変による経済的修学困難者	-	10万円/年減免	-	-
	帝京大学地域医療医師確保奨学金	貸与	入学後に選考	4名程度	1年次：入学金全学・授業料半額・医学部教育維持費初年度納入額の合計額相当(546万円) 2年次：入学年次の授業料の半額、医学部教育維持費該当年度納入額の合計額相当(210万円)	指定地域(福島、千葉、茨城、静岡)の修学資金を受けた者は、各県の貸与規程により返還免除。特定地域の修学資金を受けない者は、本学分院で初期臨床研修を行い、その後貸与期間の1.5倍の期間勤務することで返還免除	-
	帝京大学公衆衛生学研究医養成奨学金	貸与	本学公衆衛生学研究医養成コースへの参加の医師がある者	毎年3名	①医学部1～3年：月額5万円 ②医学部4～6年：月額10万円 ③初期臨床研修2年間：月額10万円 ④大学院博士課程4年間：月額5万円	-	-
東京医科	特待生	免除	一般選抜・共テ利用選抜の成績上位者	一般40位まで /共テ10位まで	初年度の授業料と290万円を免除	-	-
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	入学前に茨城県実施の修学資金貸与のための面接合格者。学校推薦型選抜の茨城県地域枠入学者	8名以内	月額25万円、6年間総額1800万円	茨城県指定の医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務(従事期間の1/2以上の期間は医師不足地域の医療機関)で返還免除	茨城県内高校出身者または茨城県内居住者の子
	新潟県医師養成修学資金	貸与	学校推薦型選抜(新潟県地域枠)合格者	3名以内	月額30万円、6年間総額2160万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	-
	埼玉県医師育成奨学金(指定大学奨学金)	貸与	学校推薦型選抜(埼玉県地域枠)合格者	2名以内	月額20万円、6年間総額1440万円	貸与期間の1.5倍の期間、埼玉県並びに大学が指定する医療機関または特定診療科に医師として勤務で返還免除	-
	静岡県医学修学研修資金	貸与	医学部生、大学院在学中の医師	若干名	月額20万円、6年間総額1440万円(大学院生は4年間)	静岡県内の指定公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間勤務で返還免除	-
	岐阜県奨学金	貸与	人物・学業ともに優秀かつ経済的修学困難者	若干名	月額10万円	岐阜県内で初期臨床研修終了後、引き続き岐阜県内の医療機関等で修学資金貸付期間と同期間業務に従事し、うち少なくとも1/2に相当する期間を知事が指定する医療機関等で勤務で返還免除	保護者が岐阜県内に住所を有すること
	川津哲郎奨学金基金		・学業優秀かつ経済的修学困難者 ・東京都に所在する大学医学部に在学する5年生	-			-
	颯田医学奨学金		・学業人物ともに優秀かつ経済的修学困難者 ・東京都に所在する大学医学部に在学する5年生	-	3万円/月(卒業までの最短期間)		-
	齋藤友次郎記念奨学金基金		・学業人物ともに優秀かつ経済的修学困難者 ・国内に所在する大学医学部に在学する3年生	-			-
	東京医科大学医学部奨学金	貸与	成績優秀で学費支弁困難者	12名以内(各学年2名以内)	月額20万円、年額240万円	-	-
	東京医科大学父母会学資金	貸与	経済的学業継続困難者	-	授業料相当額の1/4を限度	-	-
丸茂記念育英資金	給付	学費補助を要する者	-	-	-	-	
東京慈恵会医科	特待生	免除	入試成績上位者	5名	初年度授業料の全額250万円を免除	-	-
		免除	2年次生以上の前年成績上位者	各学年5名	各学年授業料の半額125万円を免除	-	-
	千葉県医師修学資金	貸与	1～3年生の千葉県出身者	-	年間240万円	千葉県知事指定の医療機関で、貸与期間の1.5倍相当(初期臨床研修期間含む)の期間勤務で返還免除	-
	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	原則1年生	-	年間240万円	静岡県内の公的医療機関等に一定期間勤務するなどの条件で返還免除	-
	慈恵大学奨学金	貸与	全学年	10名程度	学費の全額または半額	卒業後返済義務	-
	保護者奨学金	貸与	全学年	10名程度	学資充当のための50万円以上10万円単位	卒業後返済義務	-
	保護者奨学金	給付	全学年	10名程度	学費充当のため50万円	-	給付は在学中1回のみ
	慈恵医師会海外選択実習奨学金	貸与	海外の医療機関で実習する5, 6年次生	10名程度	20万円以内	一定期間勤務する等の条件で返還免除	-
本多友彦慈恵医学教育奨励基金	給付	全学年	10名以内	学資充当のための50万円	-	給付は在学中1回のみ	

大学	種類	支給方式	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、変換免除条件等	備考
東京女子医科	特待生	給付	一般選抜成績上位者	5名	授業料(280万円/年)を4年次まで給付。入学後の学業成績が31位以下となると打ち切り	—	—
	東京女子医科大学特別奨学生	貸与	学費納入困難者(全学年)	—	授業料・実習費相当額またはその一部。1年間(更新可能)	返還期間中は本学附属医療施設に勤務	—
	小林育英会	給付	学費納入困難者(1年生)	—	2万5000円/月(卒業までの最短期間)	—	—
	財団法人嶋田医学奨学金	給付	学費納入困難者(4年生)	—	3万円/月(卒業までの最短期間)	—	—
	楠田育英会	給付	学費納入困難者(4年生以上)	—	3万円/月(卒業までの最短期間)	—	—
東邦	特待生	免除	2年次生以上の前年の成績優秀者	約15名	授業料のうち、1人最高100万円(各学年200万円限度)免除	—	—
	千葉県医師修学資金(長期支援コース)	貸与	千葉県地域枠入学者(一般/推薦)	約3名	月額20万円、6年間総額1440万円	千葉県知事指定の医療機関で、貸与期間の1.5倍相当(初期臨床研修期間含む)の期間勤務で返還免除	推薦入試対象者で合格人数に満たない場合は、一般入試で選抜
	新潟県医師養成修学資金	貸与	新潟県地域枠入学者(一般/推薦)	約8名	月額30万円、6年間総額2160万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	推薦入試対象者で合格人数に満たない場合は、一般入試で選抜
	東邦大学青藍会貸与奨学金☆	貸与	経済的修学困難者【A】主たる生計者の死亡や就労不能の場合【B】生計維持者の自己都合によらずかつ予測不能な事由による経済的困窮の場合	—	【A】学納金の2/3を上限とする【B】140万円を上限とする	—	—
日本	日本大学特待生甲種	給付	2年次生以上の成績優秀者	1名	授業料1年分相当額の半分+図書費12万円	—	—
	日本大学特待生乙種	給付	—	5名	授業料1年分相当額の半分	—	—
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	茨城県地域枠入学者	3名	月額25万円、6年間総額1800万円	茨城県指定の医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務(従事期間の1/2以上の期間は医師不足地域の医療機関)で返還免除	—
	埼玉県医師育成奨学金(指定大学奨学金)	貸与	埼玉県地域枠入学者	5名	月額20万円、6年間総額1440万円	貸与期間の1.5倍の期間、埼玉県並びに大学が指定する医療機関または特定診療科に医師として勤務で返還免除	—
	新潟県医師育成修学資金	貸与	新潟県地域枠入学者	4名	貸与開始月のみ110万円、以降50万/月。6年総額3660万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	【貸与枠】 糸魚川市枠：1名(糸魚川総合病院) 小千谷市枠：1名(小千谷総合病院) 三条市枠：1名(県中央病院) 阿賀野市枠：1名(あがの市民病院)
	静岡県医学修学研修資金	貸与	静岡県地域枠入学者	3名	月額20万円、6年間総額1440万円	静岡県内の公的医療機関等に9年間(臨床研修期間含む)勤務するなどの条件で返還免除	—
	日本大学校友会奨学金	給付	校友会の準会員で、経済的修学困難者	—	在学中の利子相当額	—	—
	日本大学事業部奨学金	給付	成績優秀者で学費支弁困難者	—	24万円/年	—	—
	医学部土岐奨学金	給付	2年次生以上の成績優秀者	1名	20万円/年	—	—
	医学部永澤奨学金	給付	—	—	—	—	—
	医学部特定医療奨学金	貸与	5, 6年次生。小児、産科、救急医療を目指す者	1名	月額5万円	—	返還免除あり
	医学部同窓会60周年記念医学奨励金	給付	経済的修学困難者	1名	30万円	—	—
	日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)	給付	学費支弁困難者	2名	30万円/年	—	—
	医学部同窓会就学奨学金	給付	5, 6年次生。学費支弁困難者	—	利子相当額	—	—
	財団法人嶋田医学奨学金	給付	学費納入困難者(5年生)	—	3万円/月(卒業までの最短期間)	—	—
日本医科	特待生	免除	一般前期成績上位者	35名	1年次の授業料250万円	—	—
		免除	一般後期成績上位者	3名	—	—	—
		免除	グローバル特別選抜成績上位者	10名	1年次と2年次：授業料50万円	—	—
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	入学前に茨城県実施の修学資金貸与のための面接合格者	2名	月額25万円、6年間総額1800万円	茨城県指定の医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務(従事期間の1/2以上の期間は医師不足地域の医療機関)で返還免除	茨城県内高校出身者または茨城県内居住者の子
	茨城県医師修学資金	貸与	1～6年次生	20名程度	月額15万円、6年間総額1080万円	特定地域内の指定従事医療機関等において、貸与を受けた期間と同じ期間、医師として勤務で返還免除	茨城県外の大学(大学院を除く)の医学部に在籍するもの。新1年生については各大学医学部入学試験の受験生または合格者。
	千葉ふるさと医師修学資金	貸与	1～3年生の千葉県出身者等	15名予定	月額15万円	キャリア形成プログラムに基づき決められた期間内に修学資金の貸与期間の1.5倍の期間所定の医療機関に勤務で返還免除	—
	千葉県医師修学資金	貸与	千葉県地域枠入学者	7名	月額20万円、6年間総額1440万円	千葉県知事指定の医療機関で、貸与期間の1.5倍相当(初期臨床研修期間含む)の期間勤務で返還免除	—
	埼玉県医師育成奨学金	貸与	埼玉県地域枠入学者	2名	月額20万円、6年間総額1440万円	貸与期間の1.5倍の期間、埼玉県並びに大学が指定する医療機関または特定診療科に医師として勤務で返還免除	—
	静岡県医学修学研修資金	貸与	静岡県地域枠入学者	4名	月額20万円、6年間総額1440万円	静岡県内の指定公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間勤務で返還免除。	—
	東京都地域医療医師奨学金	貸与	東京都地域枠入学者	5名	修学費の全額(入学金、授業料及び施設設備費)及び生活費(月額10万円)	小児・産科期・救急・へき地のいずれかの医療領域で、東京都指定の医療機関に貸与期間の1.5倍の期間(本学の初期臨床研修期間含む)勤務(9年間の1/2は都内の指定医療機関に勤務)で返還免除	①東京都内に住所を有す者 ②東京都内の高等学校等を卒業または見込みの者
	新潟県医師養成修学資金	貸与	新潟県地域枠入学者	2名	月額30万円、6年間総額2160万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	—
	日本医科大学新入生奨学金	貸与	新入生の優秀者。経済状況も考慮	23年実績8名	初年度の学納金の一部を無利息で貸与。23年の平均貸与額は年額約120万円	卒業後3年目から10年の元金均等返済	—

大学	種類	支給方式	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、変換免除条件等	備考
日本医科	日本医科大学奨学金	貸与	2年次生以上の成績優秀者。経済状況も考慮	23年実績 24名	学納金の一部を無利息で貸与。毎年募集し1年ごとに貸与。23年の平均貸与額は年額約75万円	卒業後3年目から10年の元金均等返済	—
	日本医科大学父母会奨学金	貸与	2年次生以上の成績優秀者で、経済的修学困難者	23年実績 8名	学納金の一部を無利息で貸与。毎年募集し1年ごとに貸与。23年の平均貸与額は年額約106万円	卒業後3年目から10年の元金均等返済	—
北里	入学時特待生第1種	免除	一般選抜合格者から選考	若干名	6年間の学費の全額3890万円	—	選考面接あり
	入学時特待生第2種				6年間の学費の半額1945万円	—	
	相模原市地域医療医師修学資金	貸与	一般選抜相模原市修学資金枠入学者	2名	学納金の6年間分3890万円	相模原市長指定の医療機関で臨床研修(2年間)、引き続き指定の医療機関で総合診療医または総合内科医として7年間勤務で返還免除	—
	山梨県医師修学資金	貸与	学校推薦型選抜地域枠入学者、山梨県地域枠一般選抜入学者	2名	月額13万円	医師免許取得後、15年間の間に9年間山梨県内の特定公立病院等に勤務で返還免除 ※山梨県内の病院が実施する臨床研修を修了すること	山梨県内高校出身者または保護者が山梨県内居住者。地域枠指定校推薦で定員に達した場合、地域枠一般選抜は実施しない
	神奈川県地域医療医師修学資金	貸与	学校推薦型選抜地域枠入学者、神奈川県地域枠一般選抜入学者	5名	月額10万円	神奈川県内の臨床研修病院で臨床研修を受け、9年間以上(初期臨床研修期間除く)、神奈川県指定の県内医療機関で指定診療科に勤務で返還免除	神奈川県内高校出身者または大学入学時点で神奈川県内に1年以上居住者。地域枠指定校推薦で定員に達した場合、地域枠一般選抜は実施しない
	埼玉県医師育成奨学金	貸与	学校推薦型選抜地域枠入学者、埼玉県地域枠一般選抜入学者	2名	月額20万円	埼玉県内の臨床研修病院で臨床研修を受け、9年間以上(初期臨床研修期間を含む)、埼玉県指定の県内医療機関で指定診療科等に勤務で返還免除	地域枠指定校推薦で定員に達した場合、地域枠一般選抜は実施しない
	新潟県医師養成修学資金貸与制度	貸与	学校推薦型選抜地域枠入学者、新潟県地域枠一般選抜入学者	3名	貸与開始月のみ110万円、以降50万/月。6年総額3660万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修(毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	目指す診療科は内科、外科、総合診療科または小児科に限る。地域枠指定校推薦で定員に達した場合、地域枠一般選抜は実施しない
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	入学前に茨城県実施の修学資金貸与のための面接合格者。地域枠学校推薦型選抜入学者、茨城県地域枠一般選抜入学者	4名	月額25万円	茨城県指定の医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務(従事期間の1/2以上の期間は医師不足地域の医療機関)で返還免除	茨城県内高校出身者または茨城県内居住者の子。地域枠指定校推薦で定員に達した場合、地域枠一般選抜は実施しない
	北里大学学生表彰による奨学金(北島賞)	給付	前年度学業成績優秀者	各学年・各学科2名程度	10万円/年	—	—
	北里大学給付奨学金	給付	2年次生以上で、成績が上位1/3以内の者。学費支弁困難者 ※家系急変者は成績上位3/4以内	全学で25名程度	年額学費の1/2相当額、1年以内	—	—
	北里大学貸与奨学金第A種	貸与	2年次生以上の学費支弁困難者	全学で35名程度	学費1/2相当額、1年以内	卒業半年後から月賦または年賦により最長15年以内に返還(無利息)	—
	北里大学貸与奨学金第B種	貸与	最高学年生の学費支弁困難者	若干名	学費相当額、1年以内	—	—
	北里大学PPA給付奨学金	給付	2年次生以上で、成績が上位1/3以内の者。学費支弁困難者 ※家系急変者は成績上位3/4以内	全学で6名程度	学費1/2相当額、1年以内	—	—
	北里大学PPA貸与奨学金	貸与	学費支弁困難者	年間8名以内	年額60万円、1年以内	卒業半年後から月賦または年賦により最長10年以内に返還(無利息)	—
聖マリアナ医科	特待生	免除	入試成績優秀者	—	初年度の授業料・教育維持費・教育充実費相当額540万円	—	—
	神奈川県地域医療医師修学資金	貸与	地域枠特別推薦入学者	7名	月額10万円、6年間総額720万円	神奈川県内の臨床研修病院で臨床研修を受け、9年間以上(初期臨床研修期間除く)、神奈川県指定の県内医療機関で指定診療科に勤務で返還免除	神奈川県内高校出身者または大学入学時点で神奈川県内に1年以上居住者
	静岡県医学修学研修資金(聖マリアナ医科大学特別枠)	貸与	選考は入学後	若干名	年間240万円	静岡県内の指定公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間勤務で返還免除	—
	聖マリアナ医科大学奨学金	給付	経済的修学困難者	若干名	360万円を限度	—	—
	聖マリアナ医科大学奨学金	貸与	学納金支弁困難者	3名以内	月額6万円、6年以内	卒業後2年経過した翌月から貸与期間の2倍の年月の範囲内で返還。ただし本学に一定期間勤務すると返還免除	—
	学業成績等優秀学生奨学金	給付	新5年生のうち成績優秀者	1名	授業料等学校納付金を限度	—	—
	明石嘉間記念奨学金	貸与	経済的学業継続困難者	若干名	月額6万円、6年以内	卒業後2年経過した翌月から貸与期間の2倍の年月の範囲内で返還。無利子	—
	保護者会奨学金	貸与	経済的学業継続困難者	10名まで	月額7万円以内、6年以内	卒業後1年経過した翌月から貸与期間の2倍の年月の範囲内で返還。無利子	—
東海	神奈川県地域医療医師修学資金	貸与	神奈川県地域枠入学者	5名	120万円/年、6年間総額720万円	神奈川県内の臨床研修病院で臨床研修を受け、9年間以上(初期臨床研修期間除く)、神奈川県指定の県内医療機関で指定診療科に勤務で返還免除	神奈川県内高校出身者または大学入学時点で神奈川県内に1年以上居住者
	静岡県医学修学研修資金	貸与	静岡県地域枠入学者	3名	240万円/年、6年間総額1440万円	静岡県内の指定公的医療機関9年間(初期臨床研修を含む)勤務で返還免除	—
	東海大学医学部医学科特別貸与奨学金	貸与	総合型選抜(希望の星育成)	2名	200万円/年、6年間総額1200万円	本学指定の特定地域医療機関(原則本学附属病院群)に貸与期間と同期間勤務で返還免除	入試出願時申請。毎年学業成績審査あり。
		貸与	一般選抜成績優秀者	5名			
		貸与	共テ利用選抜成績優秀者	2名			
	医学部医学科奨学金☆	給付	2年次生以上の成績優秀者	約25名	120万円/年、春学期60万円、秋学期60万円	—	医学部医学科奨学金(ひまわり)との併用不可
	医学部医学科奨学金(ひまわり)☆	給付	2年次生以上の学費納入困難者	約5名	—	—	医学部医学科奨学金との併用不可
	医学部医学科特別選抜奨学金☆	給付	一般選抜・共テ利用・総合型選抜(希望の星育成)合格者	9名	200万円/年	—	—
	ワークスタディ奨学金☆	給付	成績優秀者で、経済的修学困難者	約250名	2万5千円/月、年額30万円	—	—
	【松前重義記念基金】学部奨学金(2種)	給付	人物・学業ともに優秀者	—	半期10万円	—	—
	【松前重義記念基金】自己研鑽奨学金☆	給付	文化、スポーツ、社会、ボランティア活動などの各分野において優れた計画を持ち、実現に努力している者	個人:20名程度 グループ:5グループ程度	個人:30万円以内 グループ:50万円以内	—	—
【松前重義記念基金】建学記念奨学金(建学記念論文)☆	給付	本学が指定した課題について独創力豊かな論文を書ける者	若干名	最優秀賞:20万円 優秀賞:10万円 入選:5万円	—	—	
佐藤兼蔵貸与奨学金	貸与	経済的修学困難者	若干名	年額300万円を限度	—	—	

大学	種類	支給方式	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、変換免除条件等	備考
金沢医科	金沢医科大学医学部特待生	免除	一般前期成績優秀者	10名	初年度学納金等450万円(授業料165万円、設備更新費85万円、教育充実費200万円)	—	—
	金沢医科大学医学部特別奨学金	貸与	学校推薦型選抜(指定地域)合格者の成績優秀者	約1名	330万円/年、6年間総額1980万円	卒業後直ちに本学に勤務し、勤務期間が通算5年に達することで返還免除	—
	氷見市医学修学資金	貸与	—	—	学納金から本学が貸与する特別奨学金を差し引いた額の範囲内	金沢医科大学氷見市民病院に10年間勤務で返還免除	—
愛知医科	愛知県地域特別枠修学資金	貸与	愛知県地域特別枠(A方式)入学者	約5名	愛知県から修学資金が入学年度は210万円、2年次以降は900万円/5年、本学から修学資金が入学年度は450万円、2年次以降は月額7万5000円(将来小児科または産婦人科の診療に従事する意思のある5、6年次生には愛知県からの修学資金に月額5万円以内が加算される)	義務年限(本学5年間、指定医療機関5年間 合計10年間)従事することにより返還免除	愛知県内高校出身者または出願時に本人または保護者が愛知県内居住者
	愛知県地域特別枠修学資金	貸与	愛知県地域特別枠(B方式)入学者	約5名	—	—	—
	成績優秀者学納金減免	免除	2年次生以上の前年成績優秀者	各学年2名以内	授業料の一部(100万円)を免除、1年間(毎年選考)	—	—
	愛知医科大学医学部奨学金	貸与	5年次生以上	—	年額300万円	本学病院に貸与期間の2倍に相当する期間を勤務(臨床研修医・大学院生含む)で返還免除	—
藤田医科	愛知県地域枠修学資金	貸与	一般前期愛知県地域枠入学者	5名	愛知県から修学資金が入学年度は月額17万5000円、2年次以降は月額15万円、本学から修学資金が入学年度は300万円、2年次以降は年額120万円	本学または愛知県内の関連病院で初期及び後期臨床研修を5年間実施し、その後愛知県指定の公的医療機関に4～5年間勤務で返還免除	愛知県内高校出身者または出願時に本人または保護者が愛知県内居住者
	愛知県地域枠修学資金	貸与	一般後期愛知県地域枠入学者	5名	—	—	—
	医学部成績優秀者奨学金	貸与	一般前期(愛知県地域枠を除く)入学者	10名	150万円/年を2年間(2・4年修了時に成績上位1/3以内で継続)	本学病院または本学指定の医療施設で貸与期間と同期間(上限は5年間)を勤務で返還免除	—
	医学部成績優秀者奨学金	貸与	上記とは別に2年修了時に申請手続きをおこなった成績上位者	5名	150万円/年を2年間(2・4年修了時に成績上位1/3以内で継続)	本学病院または本学指定の医療施設で貸与期間と同期間(上限は5年間)を勤務で返還免除	—
	藤田学園奨学金	貸与	経済的修学困難者	—	授業料全額または奨学金貸与委員会の査定額(無利息)	卒業後10年以内に返還義務あり	—
	藤田学園同窓会奨学金	貸与	6か月以上在学中で、経済的修学困難者	—	月額6万円限度で、奨学金委員会の査定額(無利息)	—	—
大阪医科薬科	大阪府地域医療確保修学資金	貸与	大阪府地域枠入学者	2名	大阪府の修学資金は月額10万円、本学の修学資金は年額200万円、6年間総額1920万円	大阪府内の病院に本学卒業後9年間(臨床研修期間含む)勤務し、そのうち4年間は大阪府が定める「医師の確保を特に図るべき区域」に所在する病院に勤務で返還免除	—
	大阪医科薬科大学医学部奨学金	貸与	経済的修学困難者	30名以内	年額およそ170万円(無利子)、1年間。次年度以降の再出願も可	年額90万円程度を12年以内で全額返還(貸与額により返還プランは異なる)。本学附属病院での研修医期間・本学大学院在学期間・本学基礎系講座在籍期間は返還猶予・免除される	—
	大阪医科大学仁泉会奨学金	貸与	経済的修学困難者	5～7名	年額およそ60万円程度(無利子)、1年間。次年度以降の再出願も可	年額6万円を下回らない金額で、10年以内で全額返還	—
	大阪医科薬科大学鉤奨学金	給付	経済的修学困難者で、女子学生	2名	年額50万円	—	—
	大阪医科薬科大学四方朋子記念奨学金	給付	経済的修学困難者	5名以内	年額80万円	—	—
関西医科	特待生	免除	一般前期1次試験の成績優秀者	30名	初年度190万円を免除	—	—
	藤森民子賞	贈呈	一般前期合格者最優秀の成績入学者	1名	学業資金に充てるための500万円	—	—
	鮫島美子	贈呈	一般前期合格者最優秀に次ぐ成績入学者	1名	学業資金に充てるための200万円	—	—
	大阪府地域医療確保修学資金	貸与	大阪府地域枠入学者	5名	月額10万円、6年間総額720万円	大阪府内の病院に本学卒業後9年間(臨床研修期間含む)勤務し、そのうち4年間は大阪府が定める「医師の確保を特に図るべき区域」に所在する病院に勤務で返還免除	—
	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	静岡県地域枠入学者	8名	月額20万円、6年間総額1440万円	静岡県内の指定公的医療機関9年間(初期臨床研修を含む)勤務で返還免除	—
	新潟県医師養成修学資金	貸与	新潟県地域枠入学者	2名	月額30万円、6年間総額2160万円	1～5年次の夏季休暇等を利用して行う地域医療研修に毎年参加(2日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修期間含む)、新潟県指定の医師不足医療機関等に勤務で返還免除	—
	関西医科大学学生奨学金	貸与	2年次生以上で、学費支弁困難者または卒業後本学勤務希望者	—	授業料及び実験実習費の合計額以内	—	—
	関西医科大学学生奨学金(特別枠入学)	貸与	特別枠入学者	各学年10名まで	年額100万円以内、6年間総額600万円以内	本学指定の医師不足地域・診療科に10年間(本学での初期臨床研修期間含む)の勤務で返還免除	—
	関西医科大学特定診療科勤務を条件とする奨学金	貸与	5、6年次生	各特定診療科原則5名以内	160万円を限度、最長2年間	本学で初期臨床研修をし、附属病院の特定診療科(外科・麻酔科・救急医学科)に3年以上勤務で返還免除	—
関西医科大学慈仁会給付奨学金	給付	2年次生以上で、前年度の成績優秀者(上位3名)	各学年3名	月額5万円	—	—	
近畿	大阪府地域医療確保修学資金	貸与	大阪府地域枠入学者	3名	月額10万円、6年間総額720万円	大阪府内の病院に本学卒業後9年間(臨床研修期間含む)勤務し、そのうち4年間は大阪府が定める「医師の確保を特に図るべき区域」に所在する病院に勤務で返還免除	—
	奈良県緊急医師確保修学資金	貸与	奈良県地域枠入学者	2名	月額20万円、6年間総額1440万円および入学金相当額100万円	奈良県知事指定の病院で臨床研修をし、奈良県知事指定のへき地医療機関または指定医療機関の特定診療科(小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、総合診療)で貸与期間の1.5倍の期間(臨床研修期間含む)を勤務で返還免除	—
	和歌山県地域医師確保修学資金	貸与	和歌山県地域枠入学者	2名	月額20万円、6年間総額1440万円	和歌山県内の公的医療機関に9年間(臨床研修期間含む)勤務、うち1/2以上はへき地医療機関に勤務で返還免除	—
	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	静岡県地域枠入学者	10名	月額20万円、6年間総額1440万円	静岡県内の指定公的医療機関9年間(初期臨床研修を含む)勤務で返還免除	—
	近畿大学入学前予約採用型給付奨学金☆	給付	入学者全員。受験前申請	全学で150名	年額30万円、1年間	—	—
	近畿大学給付奨学金☆	給付	成績優秀な経済的修学困難者	—	年額30万円、1年間	—	—
	近畿大学奨学金☆	貸与	経済的修学困難者	—	年額60万円、1年間。無利子。毎年出願可	—	—

大学	種類	支給方式	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、変換免除条件等	備考
近畿	KINDAI 病院奨励賞	給付	5, 6年生対象。成績優秀者	5,6年次計3名以内	年額100万円。5年生で受給の場合は申請不可	—	初期及び後期臨床研修を近畿大学医学部で2年以上行うこと
兵庫医科	特待生	免除	一般A(4科目型)成績上位者	5名	実験実習費50万円、施設設備費65万円、教育充実費100万円、総額215万円を免除	—	—
	特定診療科医師養成奨学金	貸与	一般A(4科目型)合格者および補欠上位者から選抜し決定	3名	285万円/年(後期学納金相当額)、6年間総額1710万円	—	募集人員の内訳は、外科1名、小児科・産科婦人科1名、麻酔・疼痛制御科・救急科1名。診療科等は本学組織構成により決定
	兵庫医科大学兵庫県推薦入学制度	貸与	一般A(4科目型)第1次試験合格者から兵庫県が選考	5名	6年間の大学納付金(諸会費を除く)全額3700万円と生活費130万円/年、6年間総額4480万円	—	卒業後、臨床研修2年、前期へき地派遣3年、後期研修2年、後期へき地派遣2年の計9年間勤務で返還免除
	兵庫医科大学研究医コース奨学金	貸与	3年次生以上の研究医コースの学生	各学年上限4名	150万円/年、4年間最大600万円	—	本学大学院に進学し、博士修了で返還免除
川崎医科	特待生	給付	1～5年次生の成績優秀者	1名	翌年の授業料相当額	—	—
	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	静岡県地域枠入学者	約10名	月額20万円、6年間総額1440万円	—	静岡県内の指定公的医療機関9年間(初期臨床研修を含む)勤務で返還免除
	長崎県医学修学資金	貸与	長崎県地域枠入学者	6名	6年間最大総額968万6480円	—	長崎県病院企業団等に貸与期間の1.5倍の期間(うち1/2以上の期間は離島・へき地)の勤務で返還免除
久留米	福岡県実施の奨学金	貸与	福岡県特別枠入学者	5名	月額10万円、6年間総額720万円	—	福岡県内の医療機関の外科・小児科・産婦人科・救急科・麻酔科・県知事指定診療科等で貸与期間の1.5倍(初期臨床研修期間含む)の勤務で返還免除
	久留米大学奨学金(給付)	給付	2年次生以上の成績優秀者	2名以内	授業料及び施設拡充維持料の相当額	—	—
	久留米大学奨学金(貸与)	貸与	経済的修学困難者	医学部全体で24名以内	年額10～270万円。毎年応募可	—	卒業後10年間の年賦返還(270万円貸与者は15年間も可、年利1%)
産業医科	医学部修学資金貸与制度	貸与	医学部生全員	全員	学費の一部	—	卒業後、貸与を受けた期間の1.5倍の期間産業医等の職務に就いたら返還免除
	開学40周年記念奨学金給付制度	給付	経済的修学困難者	全学年から半期20名	半期15万円	—	—
	緊急学業支援貸付	貸与	経済的修学困難者	人数制限あり	年額30万円限度	—	卒業後、本学が定める返還免除職に一定期間就いた場合全額返還免除
	授業料免除	免除	経済的修学困難者	各期40名程度 各期30名程度	半期の授業料全額267,900円 半期の授業料半額133,950円	—	— 半期ごとの選考
福岡	福岡大学特待生	給付	2年次生以上の前年度成績等優秀者	全学で約200名	30万円	—	—
	FUSカラシップ	免除	入試で優秀な成績を収めた者	全体で800名程度	授業料の半額	—	—
	福岡大学課外活動給費奨学金	給付	課外教育活動において極めて特異な能力を有し、かつ優れた業績を示した者	全学で10名程度	最高20万円	—	—
	福岡大学未来サポート募金給費奨学金	給付	経済的修学困難者	10名程度	30万円、1年間	—	—
	福岡大学有信会奨学金	貸与	6年次生で、経済的学業継続困難者	全学で50名程度	50万円/年	—	卒業後10年以内で返還